

# 教務事項に関して ー博士前期課程ー



生物学専攻正教務委員 影山

# 内 容

1. 授業、学生生活のサポート

2. 教務情報

修了に必要な修得単位

修了までのタイムスケジュール、など

3. 修了生の進路

# 授業、学生生活のサポート

- 学科長(正、副:各1名)、各講座主任(各講座1名)
- 教務委員(正、副:各1名):おもに授業の履修方法の相談
- 学年チューター(2名):授業、学生生活全般に関する相談
- 指導教員:研究指導、学生生活全般に関する指導、相談
- 就職委員(1名):就職情報、相談
- 保健管理センター、キャンパスライフ支援センター、  
キャリアセンターなど

# 修了に必要な修得単位 **30単位**

- 論文講究 4単位以上(標準は8単位)
- 特定研究 4単位以上(標準は8単位)
- 先端融合科学特論A(必修) 1単位
- 上記以外の**選択必修科目** 6～8単位
- **選択科目** 5単位以上\*

研究室セミナー  
研究活動

\* 他専攻および他研究科の授業科目を  
合わせて4単位まで算入することができる

- **研究経過発表, 修士論文の提出・発表・審査**

- 優れた研究業績(原著論文、学会発表など)を上げた者は早期修了ができる

# <大学院>

科目名	単位	選択・選択必修の別	備考
先端融合科学特論 A (生物学)	1	必修	
生体分子機構概論 I	2	選択必修	生物学コア科目 6~8単位
生体分子機構概論 II	2	〃	
生命情報伝達概論 I	2	〃	
生命情報伝達概論 II	2	〃	
生物多様性概論 I	2	〃	
生物多様性概論 II	2	〃	
生理学特論 I	2	選択	
生理学特論 II	2	〃	
生化学特論 I	2	〃	
生化学特論 II	2	〃	
細胞生物学特論	2	〃	
分子遺伝学特論	2	〃	
神経生物学特論	2	〃	
情報伝達機構特論	2	〃	
発生生物学特論 I	2	〃	
生物制御科学特論 I	2	〃	
系統分類学特論	2	〃	
生態学特論	2	〃	
細胞内動態論	2	〃	
科学英語 1 (生物学)	1	〃	
科学英語 2 (生物学)	1	〃	
特別講義	その都度定める	〃	
論文講究 I	4	選択必修	4単位以上
論文講究 II	4	〃	
特定研究 I	4	〃	4単位以上
特定研究 II	4	〃	

1単位

6~8単位

5単位以上

16単位

30  
単位

# 特別講義

- 現代の生物学 I , II : 学外の教員にオムニバス形式の講義を依頼している(前・後期に各3回).
- 上記以外の集中講義: 学外の教員(2回/年)
- 研究の裾野を広げるには, 異なった分野の最新の話題を学ぶことは重要
- 科学英語: 科学英語論文の作成技術

授業科目・学部

授業科目・大学院

スタッフ

就職・進路先

## 生物学専攻

●全専攻共通授業科目 ○特別講義

### 博士課程 前期課程

●先端融合科学特論A (生物学) / ●先端融合科学特論B (生物学)  
 分子機構概論II / 生命情報伝達概論I / 生命情報伝達概論II / 生物多様性概論I / 生物多様性概論II / 生理学特論I / 生理学特論II / 生化学特論I / 生化学特論II / 細胞生物学特論I / 細胞生物学特論II / 神経生物学特論I / 神経生物学特論II / 情報伝達機構特論I / 情報伝達機構特論II / 発生生物学特論I / 発生生物学特論II / 生物制御科学特論I / 生物制御科学特論II / 生態学特論I / 生態学特論II / 科学英語1 (生物学) / 科学英語2 (生物学) / 現代の生物学I / 現代の生物学II / 生体分子機構I / 生体分子機構II / 生物多様性I / 生物多様性II / 生命情報伝達I / 生命情報伝達II / 細胞内動態論 / 生物間相互作用論 / 論文講究I / 論文講究II / 特定研究I / 特定研究II

### 博士課程 後期課程

生体分子機構特論I / 生体分子機構特論II / 生命情報伝達特論I / 生命情報伝達特論II / 生物多様性特論I / 生物多様性特論II / 発生生物学特論I / 発生生物学特論II / 生化学特論I / 生化学特論II / 生態学特論I / 生態学特論II / 神経生物学特論I / 神経生物学特論II / 情報伝達機構特論I / 情報伝達機構特論II / 科学英語1 / 科学英語2 / 現代の生物学I / 現代の生物学II / 生体分子機構I / 生体分子機構II / 生命情報伝達I / 生命情報伝達II / 生物多様性I / 生物多様性II / 生物制御科学特論I / 生物制御科学特論II / 微生物生態学 / 特定研究I / 特定研究II

基本情報		
科目分類	専門科目	開講年次 1・2・3年
時間割コード	1S961	開講区分 前期
開講科目名	生命情報伝達特論I	曜日・時限等 金1 (対面)
成績入力担当	井上 邦夫	単位数 2.0
授業形態	講義	ナンバリングコード

担当教員一覧

詳細情報	
授業のテーマ	生命情報伝達機構の中で、主に細胞分化、再生や細胞環境への応答等に関連するものについて、最新の知見を解説する。
授業の到達目標	生命情報伝達機構についての理解を深め、今後の課題について議論する力を身につける。
授業の概要と計画	原則として対面実施する。関連分野の具体的研究例を通して最先端の知識を提供する。また、担当教員と各受講者が各自の研究内容について議論することで、受講者にとって指導教員とは異なる立場からの視点を取り入れるようにし、研究の進展に有効な講義となるように計画する。
成績評価方法	授業の取り組み状況 (6割程度) およびレポート等 (4割程度) によって成績を評価する。
成績評価基準	授業の取り組み状況として、質疑応答や討論による授業への積極的参加も評価する。レポート課題では、生命情報伝達機構についての理解度や考察内容について評価する。
履修上の注意 (関連科目情報)	履修上の注意: 講義の進行計画について随時連絡をするので、履修を希望する者は必ず事前に担当教員・井上 (kuno@kobe-u.ac.jp) まで連絡し、メールアドレスを知らせること【必須】。関連科目: 生命情報伝達特論II
事前・事後学修	履修に際してあらかじめ関連分野に幅広く目を向けること。授業後の復習を行い、自分なりの問題意識や考察を踏まえてレポート課題に取り組むこと。本学では1単位あたりの学修時間を45時間としている。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行うこと。
オフィスアワー・連絡先	随時。ただし事前にメール等で担当教員に連絡してアポイントメントを取ること。 詳細情報
学生へのメッセージ	本講義は原則として生物学専攻の学生を対象とする。単なる知識の獲得ではなくて、知識に基づく論理的な思考力を養って欲しい。
今年度の工夫	考察と議論に重きを置く
教科書	教科書は特に指定しない。必要な資料は講義時に配付、または事前にBEEFに掲載する。
参考書・参考資料等	特に指定しない。
授業における使用言語	日本語
キーワード	発生分化 再生 幹細胞 生殖細胞 神経堤細胞 心臓形成 形質発現
参考URL	

担当教員一覧	
教員	所属
越智 陽城	理学研究科
井上 邦夫	理学研究科
松花 沙織	理学研究科

# Learning Management System

beefplus.center.kobe-u.ac.jp

神戸大学 LMS  
BEEF plus

HOME  
コース検索  
BEEF+ Venture

出講表

年度 2025 現在  
2025年04月14日 ~ 2025年04月19日

履修者名簿

時限	月	火	水	木	金
1 時限				1G082 地球史における生物の変遷 坂山 英俊	
2 時限	1S402 初年次セミナー(生物学科) 深城 英弘, 塚本 寿夫, 青沼 仁志, 坂山 英俊, 上井 進也, 井上 邦夫, 奥田 昇, 石崎 公庸, 末次 健司, 横井 雅幸, 森田 光洋, 佐倉 緑, 辻 かおる, 岩崎 哲史, 宮本 昌明, 柏崎 隼, 影山 裕二, 菅澤 薫, 大沼 亮, 酒井 恒, 松花 沙織, 星野 雅和, 日下部 将之, 武石 明佳, 相原 悠介, 越智 陽城		1S742 生物多様性概論II 坂山 英俊, 上井 進也, 大沼 亮, 星野 雅和		
3 時限	1S418 生物学演習I 深城 英弘, 塚本 寿夫, 青沼 仁志, 坂山 英俊, 上井 進也, 井上 邦夫, 奥田 昇, 石崎 公庸, 末次 健司, 横井 雅幸, 森田 光洋, 佐倉 緑, 辻 かおる, 岩崎 哲史, 宮本 昌明, 柏崎 隼, 影山 裕二, 菅澤 薫, 大沼 亮, 酒井 恒, 松花 沙織, 星野 雅和, 日下部 将之, 武石 明佳, 相原 悠介, 越智 陽城	1S421 生物学実験IA 深城 英弘, 塚本 寿夫, 青沼 仁志, 坂山 英俊, 上井 進也, 井上 邦夫, 奥田 昇, 石崎 公庸, 末次 健司, 横井 雅幸, 森田 光洋, 佐倉 緑, 辻 かおる, 岩崎 哲史, 宮本 昌明, 柏崎 隼, 影山 裕二, 菅澤 薫, 大沼 亮, 酒井 恒, 松花 沙織, 星野 雅和, 日下部 将之, 武石 明佳, 相原 悠介, 越智 陽城	1S423 生物学実験IIB 深城 英弘, 塚本 寿夫, 青沼 仁志, 坂山 英俊, 上井 進也, 井上 邦夫, 奥田 昇, 石崎 公庸, 末次 健司, 横井 雅幸, 森田 光洋, 佐倉 緑, 辻 かおる, 岩崎 哲史, 宮本 昌明, 柏崎 隼, 影山 裕二, 菅澤 薫, 大沼 亮, 酒井 恒, 松花 沙織, 星野 雅和, 日下部 将之, 武石 明佳, 相原 悠介, 越智 陽城	1S424 生物学実験IIC 深城 英弘, 塚本 寿夫, 青沼 仁志, 坂山 英俊, 上井 進也, 井上 邦夫, 奥田 昇, 石崎 公庸, 末次 健司, 横井 雅幸, 森田 光洋, 佐倉 緑, 辻 かおる, 岩崎 哲史, 宮本 昌明, 柏崎 隼, 影山 裕二, 菅澤 薫, 大沼 亮, 酒井 恒, 松花 沙織, 星野 雅和, 日下部 将之, 武石 明佳, 相原 悠介, 越智 陽城	

スクリーンショット

# 修士1年生

	行事	講義関連	就活関連
4月	入学式、健康診断、授業案内 研究テーマ打ち合わせ 研究スタート	授業、セミナー(随時)、集中講義(随時) 合同インターンシップ説明会 インターンシップ申込開始(就活開始)	
4～5月	RI 講習会、遺伝子組み換え実験講習会、 動物実験講習会、寒剤講習会、研究倫理 教育		
6月		集中講義	
7月		集中講義	
8月	(オープンキャンパス、生物beer party)	集中講義、企業インターンシップ	
9月		集中講義、企業インターンシップ	学会
10月			学会
11月		OB・OG交流会(合同説明会)	学会
12月			学会
1月	修士研究経過発表会(ポスター)		
2月			
3月			学会

# 修士2年生

	行事	講義関連	就活関連
4月	2年次スタート	引き続き就活	学会
5月			
6月		就活おおむね終了?	学会
7月		集中講義	学会
8月	(オープンキャンパス、生物beer party)	集中講義、博士課程入試(第1回)	
9月		集中講義	学会
10月		企業内定式、博士課程入試(第2回)	学会
11月			学会
12月	修士論文審査申請(題名提出)		学会
1月			
2月	修士論文提出、審査、発表会	博士課程入試(第3回)	
3月	修了式	卒研発表会(追いコン)	学会
	進学、就職		

# 就職サポート

- 全学キャリア・就職ガイダンス(キャリアセンター主催)
- 就職支援講座(理学研究科・理学部就職委員会主催)
  - 自己PR作成・就職環境の解説
  - 優良企業の調べ方
  - 「エントリーシート」(ES)対策講座
  - 模擬面接体験
  - 集団面接体験セミナー
  - OB・OGによる合同会社説明会・懇親会

博士後期課程進学をサポートも充実している

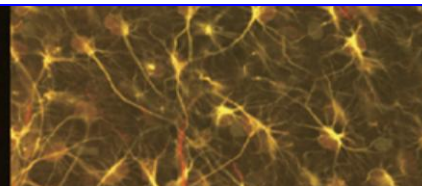
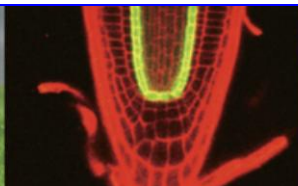
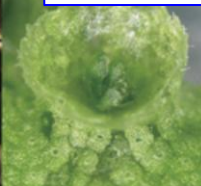
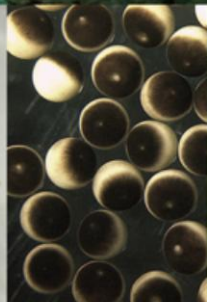
# 大学院修了生進路状況

## <2023年度、3月修了25名>

- アドバンテック(1)
- いなば食品(1)
- H.U.グループHD(1)
- NHK (1)
- 王子ホールディングス(1)
- 大塚食品(1)
- 大塚製薬(1)
- goffa (1)
- コナミデジタルエンタテインメント(1)
- 住友化学(1)
- 住友林業(1)
- 中外製薬 (1)
- タカラベルモント(1)
- ネスレ日本(1)
- バローホールディングス(1)
- 兵庫ベンダ工業(1)
- プリマハム(1)
- 三菱商事ライフサイエンス(1)
- 雪印メグミルク(1)
- リニューアルブル・ジャパン(1)
- 国家公務員(1)
- 神戸大学大学院(3)
- その他 (1)

## <2024年度、3月修了22名>

- アイル(1)
- イーソル(1)
- インターサイエンス社(1)
- 協和キリン(1)
- JCRファーマ(1)
- 住友化学(1)
- 成和化成(1)
- 全星工業(1)
- 第一実業ビスウィル(1)
- TOA (1)
- 日本経済新聞社(1)
- 日本新薬(1)
- 日本製紙(1)
- パナソニックインダストリー (1)
- 扶桑薬品工業(1)
- ベネッセコーポレーション(1)
- マルホ(1)
- 明治安田生命保険相互会社(1)
- その他 (3)



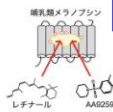
スタッフ、研究内容の詳細は、  
生物学科ホームページ  
または、各教員に個別にE-mailを。  
このあと、Z201/202で研究室の  
ポスター紹介をおこないます。

- ▶ 学科・専攻の紹介
- ▶ 教育研究分野
- ▶ 教員一覧
- ▶ 施設案内
- ▶ 受験案内
- ▶ 学外向け研究活動
- ▶ 関連研究センター
- ▶ 神戸大学理学部
- ▶ 神戸大学 TOP
- ▶ 生物学科の午後

理学部生

What's N

2025.03.



さい。

教務関係の質問は、  
教務委員 影山  
または、理学部教務学生係まで

俊文研究室と、塚本寿夫准教授の共同研究がJournal of Biological Chemistry誌に掲載されました。哺乳類の概日時計のリセットや瞳孔反射を担う光受容タンパク質メラノプシンに対する阻害剤が、どのようにして哺乳類メラノプシン特異的に作用するのかを実験と分子シミュレーションを組み合わせた解析によって明らかにしました。詳しくはこちらのページをご覧ください。